

大野城市

災害時避難行動要支援者支援計画



大野城市

目 次

1	災害時避難行動要支援者支援計画の策定について	1
2	避難行動要支援者支援の仕組み	1
3	避難行動要支援者の特定	2
(1)	要配慮者の把握	2
(2)	支援の対象とする避難行動要支援者の範囲	2
(3)	個別避難計画の策定	2
(4)	制度の周知と個別避難計画策定の働きかけ	3
4	地域支援者	3
(1)	地域支援者の役割	3
(2)	地域支援者の決定	3
5	避難行動要支援者情報	4
(1)	避難行動要支援者名簿の作成	4
(2)	情報の共有	4
(3)	情報の管理	4
(4)	情報の更新	5
6	避難情報などの伝達体制の整備	5
(1)	市からの情報伝達	5
(2)	地域支援者等から避難行動要支援者への情報伝達	6
(3)	避難に関する情報の発表	7
(4)	地域住民による通報	7
7	災害発生時の支援活動	7
(1)	地域支援者の役割	7
(2)	自主防災組織の役割	8
8	外国人などの支援対策	9
(1)	外国人の支援対策	9
(2)	旅行者への対応	9
9	平常時の見守り体制	9
10	災害に強いまちづくり・ひとづくり	9
(1)	住民の意識啓発	9
(2)	地域活動への積極的な参加	9
(3)	防災訓練の実施	10
11	避難行動要支援者避難支援の流れ	11
12	大野城市災害対策本部の避難行動要支援者対策	12
	【様式第1号】大野城市災害時避難行動要支援者支援計画届出書 兼情報提供同意書	13
	(資料1) 避難所一覧	17
	(資料2) 関係機関の連絡先一覧	19

大野城市災害時避難行動要支援者支援計画

1 災害時避難行動要支援者支援計画の策定について

市では、平成 22 年 4 月に「地域で支える災害時要援護者支援制度の手引き」を策定し、災害が発生したときに、高齢者、障がい者などの支援が必要な人を、地域で支える支援体制を構築し、支援を実施してきました。

しかしながら、全国的にも本市と同様の取り組みがなされていたなか、平成 23 年の東日本大震災において、高齢者や障がい者が数多く犠牲になり、他方で、消防関係者や民生委員・児童委員などの支援者にも多くの犠牲者が出ました。

このことから、東日本大震災の教訓を踏まえ、国は平成 25 年に災害対策基本法を改正し、また、「災害時要援護者の避難支援ガイドライン」を全面的に改定した「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針」を取りまとめました。

法改正においては、高齢者、障がい者などの災害時に特に配慮を要する人（以下「要配慮者」という。）のうち、自ら避難することが困難で、円滑かつ迅速に避難するため特に支援を要する人（以下「避難行動要支援者」という。）に対する支援体制を見直すため、避難行動要支援者名簿作成を自治体に義務化し、併せて、名簿情報の外部提供に関する規定などが盛り込まれました。

市においても、改正法や国の指針に基づき、災害発生時に、一人でも多くの避難行動要支援者の生命と身体を守るという重要な目標を達成するため、これまで取り組んできた「自助と共助」を基本として地域ぐるみで避難行動要支援者の安全と安心を守る支援体制のさらなる充実を目的として策定しました。

2 避難行動要支援者支援の仕組み

避難行動要支援者支援の仕組みは、次のとおりです。

- 市は、地域で、災害が発生したときに支援が必要な人（避難行動要支援者）を特定し、避難行動要支援者名簿を作成します。
- 市は、避難行動要支援者名簿の情報を、本人の同意を得て、平常時から地域支援者、自主防災組織、民生委員・児童委員、大野城市社会福祉協議会、春日・大野城・那珂川消防本部、春日警察署、その他避難支援者（以下「避難支援等関係者」という。）に提供し、災害発生時に円滑かつ迅速な避難支援ができるように日頃の見守り活動や地域支援者との情報共有などを行います。
- 市は、避難行動要支援者名簿の情報を、災害発生時に、避難支援等関係者に提供し、個別避難計画に定めた地域支援者とともに円滑かつ迅速な避難支援を行います。

- 市は、避難行動要支援者一人一人に対し、支援を行う人たち（地域支援者）を決定し、個々の避難のための個別避難計画を策定します。
- 地域支援者と避難行動要支援者は、いざというときのために、日ごろからコミュニケーションをとり、良好な関係を築いておきます。
- 災害が発生したときには、地域支援者は、避難行動要支援者を避難所等まで誘導するなど支援活動を行います。

3 避難行動要支援者の特定

緊急時に支援を行うためには、まず、支援が必要な避難行動要支援者を特定することが必要です。そして、どのような状況にあり、どのような支援が必要なのかといった基本的な情報を把握しておかねばなりません。

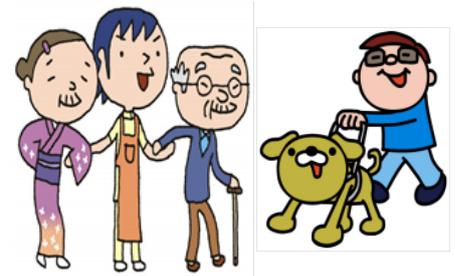
(1) 要配慮者の把握

市は、災害時において、高齢者、障がい者、乳幼児その他の特に配慮を要する「要配慮者」の情報を的確に把握し、適切な支援を実施します。

(2) 支援の対象とする避難行動要支援者の範囲

この制度の対象とする避難行動要支援者は、要配慮者のうち災害が発生したときに地域の支援が必要となる次の人です。

- 高齢者（65歳以上の人）で単身世帯
または高齢者のみの世帯の人
- 要介護1以上の介護認定を受けた者
- 障がい者（児）（身体障害者手帳1級、
2級および療育手帳A所持者）
- 難病患者、妊産婦、乳幼児、外国人等で、
支援を希望する人
- その他、自力では避難することが困難で、支援を希望する人
- 避難支援等関係者が災害発生時に支援が必要と認めた人



(3) 個別避難計画の策定

市は、避難行動要支援者一人一人に対し、地域支援者を決定し、個々の避難を支援するため、緊急連絡先、避難支援を必要とする理由、身体等の状況、同居家族構成、かかりつけ医等の情報、そのほか避難時に留意する事項を定めた避難行動要支援者支援計画（以下「個別避難計画」という。）を策定します。

避難行動要支援者は、「避難行動要支援者支援計画届出書兼情報提供同意書」（様式第1号）に必要事項を記入し、市に提出します。

避難行動要支援者本人が記入・提出できない場合には、家族や民生委員・児童委員などの代理人が記入・提出することもできます。

(4) 制度の周知と個別避難計画（災害時避難行動要支援者支援計画）策定の働きかけ

避難行動要支援者には、実効性のある個別避難計画の策定のため、次の方法により周知と個別避難計画策定（提出）の働きかけを行っていきます。

① 広報、ホームページによる案内

広報「大野城」や市ホームページに、個別避難計画策定（提出）を呼びかける記事を定期的に掲載します。

② ダイレクトメールによる案内

避難行動要支援者となる可能性が高い人には、市から届出を勧めるダイレクトメールを発送します。

③ 民生委員・児童委員など福祉関係者による個別避難計画策定（提出）支援
民生委員・児童委員などの福祉関係者が、個別避難計画策定（提出）のための支援を行います。

④ さまざまな機会や機関を通じた案内

市は、避難行動要支援者と接するさまざまな機会（65歳到達時、身体障害者手帳の申請、母子手帳交付時、外国人の転入届時等）を利用して、また関係機関を通じて、制度の紹介と個別避難計画策定（提出）の働きかけを行います。

4 地域支援者

(1) 地域支援者の役割

地域支援者は、避難行動要支援者の支援を行う人たちです。主に次のことをお願いしますが、できる範囲の支援をお願いするもので、決して責任を伴うものではありません。

- 災害が発生したときに、地域と協力しながら避難行動要支援者と一緒に避難してもらいます。
- 日ごろからの近所付き合いを通じて、避難行動要支援者の見守りを行ってもらいます。



(2) 地域支援者の決定

避難行動要支援者は、自分の地域支援者として次のいずれかの方を指定します。

- お知り合いの方
- 地域の皆さん（隣組や自主防災組織など）

※ 「お知り合いの方」を指定する場合、その方への依頼は避難行動要支援者が直接行います。

※ 「地域の皆さん」を指定する場合、地域ケア会議等における情報等をもとに自主防災組織や隣組で地域支援者を指定します。ただし、届出者は次のことに留意してください。

- ① 自主防災組織等において、地域支援者を指定することに努めますが、ご期待に添えない場合もあります。
- ② 地域支援者が指定されていない状態で災害が発生した時には迅速な支援が行えない可能性があります。
- ③ 本制度は、「自助と共助」を基本にしたものであるため、届出者においても地域支援者を指定することに努めて下さい。

※ 地域支援者として一番望ましいのは、災害時に最も迅速に支援ができる、隣近所の「お知り合いの方」です。

5 避難行動要支援者情報

(1) 避難行動要支援者名簿の作成

市は、避難行動要支援者から提出された「災害時避難行動要支援者支援計画届出書兼情報提供同意書」をもとに、地区別の避難行動要支援者名簿（台帳）を作成します。

(2) 情報の共有

市は、関係部局において避難行動要支援者の個別避難計画の情報を共有するとともに、必要な情報を次の避難支援等関係者に提供します。

- 地域支援者
- 自主防災組織
- 民生委員・児童委員
- 大野城市社会福祉協議会
- 春日・大野城・那珂川消防本部
- 春日警察署
- その他避難支援者（医療機関、消防団等）



※ 本人の同意を得て、避難支援等の実施に必要な限度で、避難支援等関係者に、平常時から災害の発生に備えて、必要な情報を提供します。

※ 災害が発生した場合や、発生するおそれがある場合で、避難行動要支援者の生命や身体を守るために緊急を要する場合には、本人の同意を得ることなく、避難支援等関係者に情報を提供する場合があります。

(3) 情報の管理

市は、避難行動要支援者名簿の情報（個別避難計画の情報を含む）を提供した避難支援等関係者に対して、災害対策基本法第 49 条の 12 の規定

に基づき、情報の漏えい防止のため次のとおり必要な措置を講じます。

市が情報提供しようとするときは、あらかじめ情報の提供を受けようとする避難支援等関係者との間で提供する個人情報の取扱いに関する協定を締結するものとし、協定においては、次に掲げる事項を定めます。

- 名簿管理責任者の設置
- 名簿を利用する者の範囲
- 名簿情報の目的外使用の禁止及び提供の制限に関する事項
- 名簿の安全な管理方法（管理場所や施錠に関する事項）
- 名簿情報の守秘義務に関する事項
- 名簿情報の更新の方法
- 協定に違反した場合の措置
- そのほか、名簿情報の管理に関し必要な事項



また、市は、協定の内容が遵守されているかどうかを確認するために必要があると認めるときは、情報を提供した避難支援等関係者に対して、名簿情報の管理状況について報告を依頼し、名簿情報の管理状況を調査し、必要に応じて是正を求めます。

(4) 情報の更新

避難行動要支援者の情報が現状と違っていたら、災害が発生したときに、避難行動要支援者を適切に支援することはできません。

そこで、市は、登録された避難行動要支援者の情報の更新（個別避難計画の記載内容の確認）を定期的（年1回）に行います。ただし、関係者からの変更の申請があった場合には、その都度速やかに更新します。

6 避難情報などの伝達体制の整備

(1) 市からの情報伝達

市は、災害が発生するおそれが大きくなったときには、避難行動要支援者や地域支援者、そして関係地区の住民に、危険の状況や避難に関する情報を、迅速かつ的確に伝えなければなりません。

災害の規模によっては、伝達手段に障害が生じることも予想されるため、多様な伝達手段を確保しておく必要があります。

そこで、市では次のような手段を使って情報を伝達することとします。

- 市の広報車による広報
- 消防団車両による広報
- 「防災メール・まもるくん」によるメール配信
- 「災害情報伝達システム」による一斉放送
- 「災害情報等配信サービス」による情報配信



- テレビ、ラジオを通じた放送
- 市ホームページへの情報掲載
- 「戸別受信機」の貸与
- 「dボタン広報誌」を活用した情報発信

※ 公民館、コミュニティセンター、御笠川浸水想定区域内と土砂災害警戒区域内にある避難行動要支援者利用施設には、確実に情報を伝達します。

◆「防災メール・まもるくん」とは

福岡県が運営する防災情報等メール配信システムで、地震、台風、大雨等の気象情報や避難指示等の防災情報をはじめとする地域の安全安心に関する様々な情報を配信します。

◆「災害情報伝達システム」とは

市内の公共施設などに屋外スピーカーを整備し、市役所からの遠隔操作で一斉放送やサイレン吹鳴を行い、住民に避難指示などの災害情報を知らせるシステムです。

◆「災害情報等配信サービス」とは

災害時に市が発信する気象や避難に関する情報を、事前に登録された人に電話（人工音声）又はファックスでお知らせするサービスです。

◆「戸別受信機」とは

市内に設置された防災行政無線の屋外スピーカーから流れる避難情報や緊急地震速報などの放送を家の中でも聞くことができる受信機です。

◆「dボタン広報誌」とは

KBCが提供するサービスで、テレビの「dボタン」を使い、市のお知らせやイベント、災害時の避難情報などを視聴者に迅速に配信します。

(2) 地域支援者等から避難行動要支援者への情報伝達

視覚障がいや聴覚障がいなどにより、市からの情報がうまく伝わらない避難行動要支援者に対しては、地域支援者等が、電話やメール、あるいは直接訪問するなどして情報を伝えます。

地域支援者等が的確に情報を伝達することが出来るよう、市は地域支援者等による様々な情報伝達方法の習得等を支援します。

地域支援者、自主防災組織および避難行動要支援者が、災害に関する情報を確実に取得するために、積極的に「防災メール・まもるくん」及び「災害情報等配信サービス」に登録されるよう促します。



(3) 避難に関する情報の発表

市は、災害により人的被害が発生するおそれがある場合には、危険度に応じて、次のとおり避難に関する情報を発令します。

① 高齢者等避難

高齢者等避難は、人的被害が発生する可能性が高まったときに発令する情報で、避難行動要支援者など、避難に時間がかかる人は避難を開始しなければならない状況にあることを知らせるものです。

この情報を受けて、地域支援者は避難行動要支援者の避難支援を開始します。

② 避難指示

避難指示は、人的被害が発生する可能性が明らかに高まったときに発令する情報で、通常の避難行動ができる人も避難を開始しなければならない状況にあることを知らせるものです。

この発令を受けて、通常の避難行動ができる人は指定された避難所等への避難を開始します。

③ 緊急安全確保

緊急安全確保は、人的被害が発生するか、発生する危険性が非常に高まったときに発令する情報です。

この発令を受けて、避難中の人は確実な避難を直ちに完了し、避難していない人はすぐに避難を始め、その余裕がない場合には、生命を守る最低限の行動をとります。



(4) 地域住民による通報

地域住民は、土砂災害の前兆現象や災害が発生するおそれがある異常な現象を発見した場合には、市（または消防署、警察署）に通報するとともに、地域の自主防災組織などの避難支援等関係者に連絡します。

7 災害発生時の支援活動

(1) 地域支援者の役割

地域支援者は、避難に関する情報が発表された場合や、身体に被害を及ぼす規模の災害が発生した場合には、避難行動要支援者に対して次のような支援活動を行います。

① 避難誘導

自宅にいたことが危険な状況にある場合には、避難行動要支援者を手助けして、一緒に公民館等の指定された避難所等まで避難します。

※ 避難誘導経路は、できるだけ浸水や土砂災害などの危険のある区域を避けたルートを複数設定しておきます。

※ 状況によっては避難所には避難せず、避難行動要支援者の自宅2階や近接の堅固な建物の2階など、身の安全を確保できる場所に避難することもあります。

② 安否確認

災害が発生した直後には、自分自身と家族の安全を確認後、避難行動要支援者の安否を確認します。

※ 安否確認の結果、避難行動要支援者の消息が不明な場合には、自主防災組織などの避難支援等関係者に連絡します。

③ 救出救助

避難行動要支援者の家屋が被災している場合には、直ちに消防署または市に通報します。

災害の規模が大きいため、消防署などの公的な救助が見込めない場合には、地域住民や自主防災組織と協力して、可能な限り避難行動要支援者の救出にあたります。

④ 報告

避難行動要支援者の避難誘導などの支援活動を行った場合には、支援の状況を自主防災組織などの避難支援等関係者に報告します。

また、地域支援者自身が被災するなどして、避難行動要支援者を支援することができない場合には、隣近所の住民に支援を要請するとともに、自主防災組織などの避難支援等関係者に連絡します。

(2) 自主防災組織の役割

自主防災組織は、避難に関する情報が発表された場合や、人命や身体に危険を及ぼす大規模な災害が発生した場合には、公民館を拠点として次のような支援活動を行います。

① 避難行動要支援者の状況把握

地域支援者からの報告などから、地域内の避難行動要支援者の避難などの状況を把握します。



② 避難誘導や救出救助活動および関係機関への要請

地域住民や福祉関係者などと協力して、状況が把握できない避難行動要支援者や、地域支援者が支援することのできない避難行動要支援者の安否確認、救出救助などを行います。

避難誘導や救出救助において、必要に応じて市や消防署等の関係機関に出動要請を行います。

③ 地域支援者の支援活動への協力

地域支援者からの要請を受けて、避難行動要支援者の避難誘導や救出救助などに協力します。

- ④ 個別避難計画未策定の避難行動要支援者の支援
地域支援者等が決まっていない避難行動要支援者の避難誘導や安否確認、救出救助などを行います。

8 外国人などの支援対策

(1) 外国人の支援対策

市は、災害時に外国人が孤立しないよう必要な情報を収集し、外国人に対して情報提供します。

情報提供を行う際は、報道機関と連携し、外国人に対して外国語による適切な災害情報を提供するとともに、県や災害時応援協定締結事業者などを通じて、通訳・翻訳ボランティアや国際交流専門員の派遣を要請します。

(2) 旅行者への対応

市は、災害時の旅行者の被災状況について、関係団体などからの情報を収集し、状況の把握に努めるとともに、災害応急対策の実施に際し、関係機関などから情報提供の要請があった際には、迅速に提供します。

9 平常時の見守り体制

地域支援者は、避難行動要支援者が、災害時だけでなく平常時においても、地域社会から孤立することなく安心して暮らしていただけるように、日ごろから声かけや訪問などの「無理のない見守り」（安否確認）を行い、異変（「元気がない」「新聞がたまっている」など）を察知した場合には、民生委員・児童委員など福祉関係者に連絡します。

10 災害に強いまちづくり・ひとづくり

(1) 住民の意識啓発

避難行動要支援者支援の取り組みを進めるためのポイントは、住民一人一人の防災に対する意識の向上と「地域の連携」です。地域の皆さんが「自分たちの地域は自分たちで守る」という自助と共助の意識を持つことが、最も大きな災害への備えとなります。市は消防署や県と協力して、出前講座や防災士養成講座などを実施し、住民の皆さんの防災意識の向上に努めます。

(2) 地域活動への積極的な参加

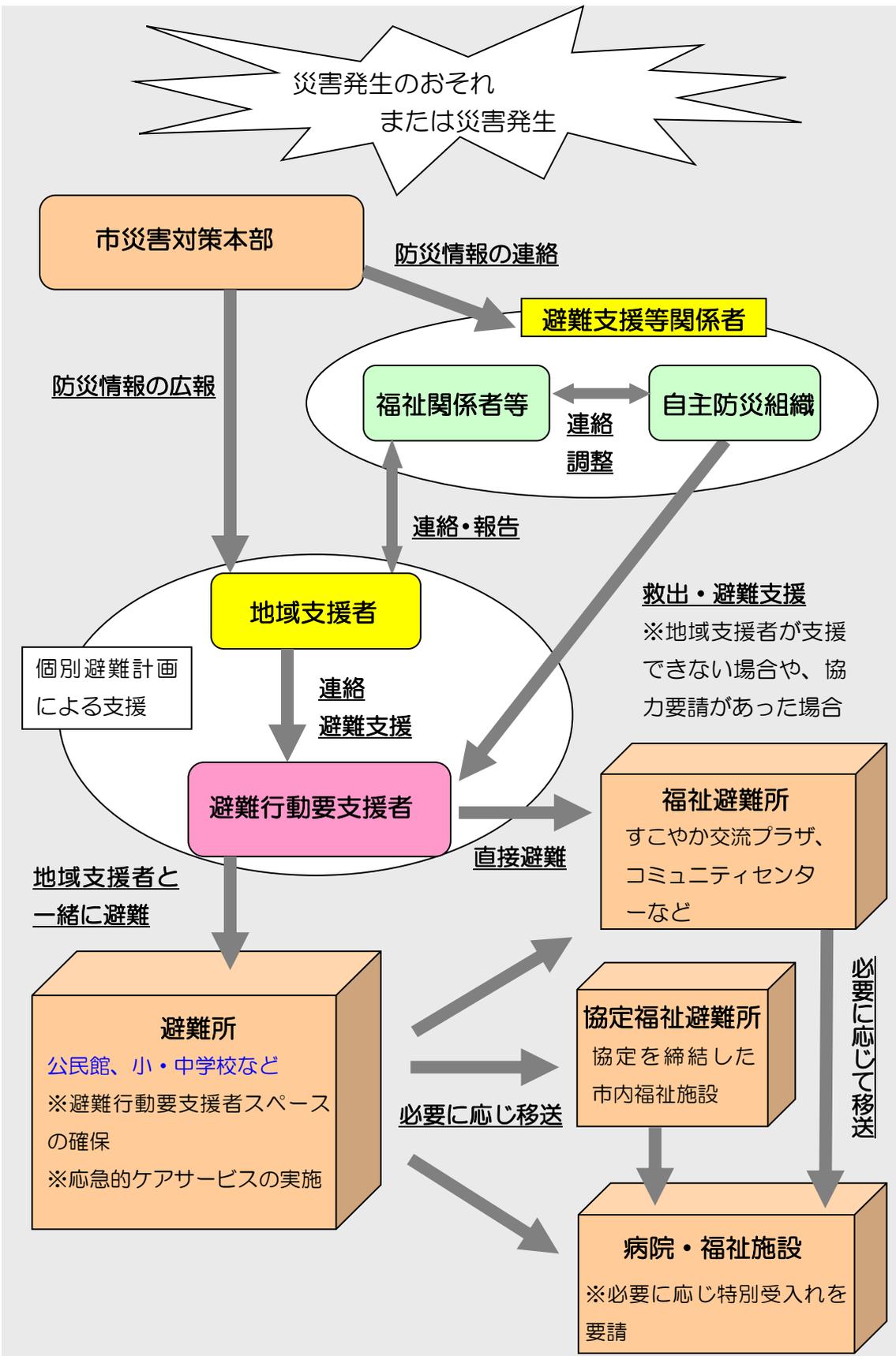
ご近所付き合いや地域の人たちとの交流が、いざというときの「助け合いの関係」を築いていきます。住民の皆さんは、日ごろから隣近所の人たちとあいさつを交わし、隣組や区、コミュニティの行事や活動に積極的に

参加して多くの顔なじみを作り、地域とのつながりを深めていくことが大切です。

(3) 防災訓練の実施

自主防災組織は、市や消防署と連携して避難行動要支援者と地域支援者が一緒に参加する防災訓練を実施します。避難訓練では、どのような支援が必要なのか、避難経路や避難所に問題はないかなどを確認し、実際に災害が発生したときに、スムーズに行動できるようにします。

11 避難行動要支援者避難支援の流れ



1 2 大野城市災害対策本部の避難行動要支援者対策

項目	初期活動期	応急活動期	復旧活動期
避難活動	<ul style="list-style-type: none"> ●避難の指示等 (本部班、関係機関) ●警戒区域の設定 (本部班、関係機関) ●避難の誘導 (避難対策班) 	<ul style="list-style-type: none"> ●広域的避難への対応(受け入れ) (本部班、避難対策班) 	
避難所の開設	<ul style="list-style-type: none"> ●避難所の開設 (避難対策班) 		
要配慮者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●要配慮者の把握・安否確認 (福祉班) ●避難行動要支援者の避難支援 (福祉班、避難対策班) ●避難所の要配慮者の支援 (福祉班、避難対策班) ●在宅避難の要配慮者の支援 (福祉班、避難対策班) ●外国人等の支援対策 (広報・報道班、福祉班) 	<p>➡</p> <ul style="list-style-type: none"> ●福祉避難所等の確保と移送等 (福祉班、関係各班、関係機関) ●巡回ケア・広報・相談業務 (広報・報道班、福祉班) 	<p>➡</p> <p>➡</p>
避難所の運営		<ul style="list-style-type: none"> ●避難所の運営 (避難対策班) ●長期化を見通した避難者への配慮 (避難対策班、医療救護班、広報・報道班) 	<p>➡</p> <p>➡</p>
避難所の廃止			<ul style="list-style-type: none"> ●避難所の統合・廃止 (避難対策班)
在宅避難者		<ul style="list-style-type: none"> ●在宅避難者対策 (関係各班) 	

※必ず皆さん提出してください。
(昨年度、提出した方も再提出が
必要です。)

※9月末日までに提出してください。

避難行動要支援者名簿 登録同意書

大野城市災害時避難行動要支援者
支援計画届出書兼情報提供同意書

I 情報提供に関する同意 ※必ず記入してください

①あなたの避難支援カードの情報を、支援してもらう人たちに事前にお知らせしてもいいですか？

事前の情報提供に 同意します。 同意しません。

令和 年 月 日 署名 _____

代理署名者 (続柄 _____)

なお、災害発生時は、同意の有無に関わらず、災害対策基本法に基づき、避難支援カード（支援計画）の内容について、避難支援等関係者へ情報提供することがあります。

II 支援の希望 ※必ず記入してください

②現在のあなたの住所はどこですか？

自宅

長期入院中

施設入院中



災害時は、施設等が策定した「避難計画」に沿って
安全を確保することとなります。
記入はここまでです。ありがとうございました。

③災害が起きたとき、ご自分で（同居の家族と）避難所まで避難ができますか？

はい

いいえ

④普段からの声かけ（関わり）を希望しますか？

はい

いいえ

③の設問で「いいえ」と回答した方は、引き続きウラ面以降の記入をお願いします。

※昨年の調査の結果を反映していますので、変更があれば二重線で訂正をお願いします

③ 基本情報

あなたのお名前や、住所などの情報です。
市でわかる情報はあらかじめ印字していますので、ご確認ください。
また、空欄になっているところにもご記入をお願いします。

フリガナ		性別	生年月日	
氏名			血液型	
住所			電話番号	
健康保険証の記号・番号 または 後期高齢者医療の被保険者番号				
障害者医療証などの公費医療の 受給者番号 ※持っている人のみ				

④ 緊急連絡先

親族など日頃から連絡を取り合っている方を記入してください。
(日頃のあなたの状況がわかる人であれば、遠方の方でも大丈夫です。)

	氏名	住所	電話番号	続柄
緊急 連絡先				

※連絡先は、携帯電話など連絡のつきやすい番号を記入してください。

1ページ目で支援を希望された方につきましては、ご記入いただいた
情報を本市が取り組んでいる「緊急連絡カード」(※)に記載し、
ご本人にお送りします。

※「緊急連絡カード」とは、事故や急病などで本人が連絡先などを伝えることができない時、
緊急連絡先などの情報を記載したものを自宅に保管しておいて救急活動等に活用するものです。

緊急連絡カードについて、くわしくお知りになりたい方は、
市役所福祉サービス課(電話580-1851)までお問い合わせください。

⑤ 支援者の指定

災害がおきて避難するとき、誰に支援してもらいますか？
(次の3つから選んでチェックしてください。最も望ましいのは、「お知り合いの方」です。)

昨年の調査の結果を
マークしていますので、
参考にしてください。

お知り合いの方

※事前にご本人の承諾を得て、下記にその方の氏名等を記入してください。
1名でも結構です。(災害時に支援してくれる人が望ましいです。)

フリガナ		住所	
氏名		電話番号	
フリガナ		住所	
氏名		電話番号	

緊急連絡先(2ページに記載)の方

※近隣の方で、実際に災害時の支援が出来る方に限ります。
事前にご本人の承諾を得てください。

地域のみなさん

※支援を頼めるお知り合いがない場合は、自主防災組織(区)や隣組の方、
民生委員・児童委員などを指定します。ただし、次のことに留意して
ください。

- ・自主防災組織等において避難支援等関係者を決定することに努めますが、ご期待に添えない場合もあります。
- ・避難支援等関係者が決定されていないと災害時に迅速な支援が行えない可能性があります。
- ・災害時には、自らの命は自分で守る、または、隣近所が助け合って地域の安全を守るという「自助・共助」が重要です。届出者(申請者)自身で支援者を決めることに努めましょう。

⑥ 支援の方法

災害がおきて避難するとき、支援してほしいことは何ですか？

昨年の調査の結果を
マークしていますので、
参考にしてください。

- 避難するよう声をかけてほしい。
- 一緒に避難してほしい(身体的な介助はいらない)
- 身体的な介助をしてほしい(避難のお手伝いに必要な人数: 人)

(資料1)

避難所一覧 (令和7年2月現在)

◆学校については屋内運動場を指定避難所としている。

◆表内「※1」は想定最大規模降雨時における浸水想定区域内、「※2」は土砂災害警戒区域内に位置することを示すため、避難の際には留意が必要。

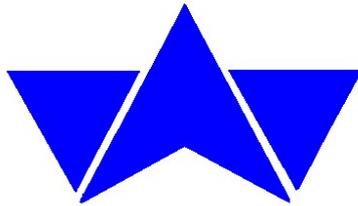
	名称	所在地	収容可能面積 (㎡)	室数			収容可能人員 (人) 1人当り 3.0㎡	電話番号	災害種別		
				小部屋	屋内運動場	ホール			地震	水害	土砂災害
北 地 区 コ ミ ュ ニ テ イ	上筒井公民館	筒井 3-8-1	244.5	4	1	81	571-4116	○	○※1	○	
	下筒井公民館	筒井 1-7-1	263.7	4	1	87	571-4115	○	○※1	○	
	山田公民館	山田 4-13-17	225.9	3	1	75	571-4386	○	○※1	○	
	雑餉隈町公民館	雑餉隈町 3-3-7	187.5	3	1	62	591-6074	○	○	○	
	栄町公民館	栄町 1-1-11	161.0	3	1	53	572-8665	○	○	○	
	仲島公民館	仲畑 4-21-1	205.2	3	1	68	572-1147	○	○※1	○	
	畑詰公民館	仲畑 2-9-12	149.7	4	1	49	571-0460	○	○※1	○	
	北コミュニティセンター	御笠川 1-17-1	1,325.5	4	2	441	513-0099	○	○※1	○	
	大野北小学校	山田 4-17-1	625.8	0	1	208	581-1501	○	○※1	○	
	御笠の森小学校	御笠川 1-7-1	530.0	0	1	176	504-1431	○	○※1	○	
青少年の居場所	筒井 2-2-2	150.8	3	1	50	580-1811	○	○※1	○		
東 地 区 コ ミ ュ ニ テ イ	釜蓋公民館	大城 4-9-5	238.0	4	1	79	503-0022	○	○	○	
	井の口公民館	大城 1-25-1	180.9	3	2	60	503-5384	○	○※1	○	
	中公民館	川久保 1-7-1	193.0	3	1	64	504-0258	○	○	○	
	乙金公民館	乙金 2-5-18	268.9	5	1	89	504-1870	○	○	○	
	乙金台公民館	乙金台 2-17-3	214.1	4	1	71	503-9793	○	○	○	
	乙金東公民館	乙金東 3-5-43	160.0	2	1	53	503-8812	○	○	○※2	
	大池公民館	大池 2-2-2	226.2	4	1	75	504-1386	○	○	○	
	中集会所	中 1-6-21	80.48	0	1	26	504-7321	○	○	○	
	東コミュニティセンター	大池 2-2-1	1,427.5	6	2	475	504-1428	○	○※1	○	
	大野東小学校	乙金 1-18-1	567.0	0	1	189	503-7160	○	○※1	○	
大城小学校	大城 3-29-1	540.0	0	1	180	503-6332	○	○※1	○		
大野東中学校	乙金台 2-5-1	1,574.2	0	2	524	503-5101	○	○	○		
御陵中学校	中 1-20-1	1,616.6	0	2	538	503-2901	○	○※1	○※2		
総合体育館	大字乙金618-12	2,192.9	3	3	731	503-0021	○	○	○※2		

	名 称	所在地	収容可能面積 (㎡)	室数		収容可能人員 (人) 1人当り 3.0㎡	電話番号	災害種別		
				小部屋	屋内ホール 運動場			地震	水害	土砂災害
中央地区 コミュニティ センター	上大利公民館	上大利 2-18-1	268.5	3	1	91	596-4686	○	○	○
	下大利公民館	下大利 2-10-10	145.7	2	1	48	571-6367	○	○*1	○
	東大利公民館	東大利 1-12-5	231.4	4	1	77	591-8943	○	○*1	○
	下大利団地公民館	下大利団地 4-2	214.0	4	1	71	573-8440	○	○*1	○
	白木原公民館	白木原 1-5-5	315.0	5	1	105	571-4403	○	○	○
	瓦田公民館	瓦田 3-1-1	169.7	3	1	56	571-4453	○	○*1	○
	中大利公民館	中央 1-2-15	153.2	2	1	51	571-4322	○	○*1	○
	白木原集会所	白木原 4-5-26	144.8	2	1	48	584-3422	○	○*1	○
	瑞穂町集会所	瑞穂町 2-2-26	114.6	2	1	38	212-9647	○	○	○
	中央コミュニティセンター	中央 1-5-1	1,304.4	4	2	434	573-3127	○	○	○
	大野小学校	瓦田 3-2-1	530.0	0	1	177	581-1027	○	○*1	○
	大利小学校	上大利 1-7-1	513.0	0	1	171	596-3092	○	○	○
	下大利小学校	東大利 4-8-1	540.0	0	1	180	501-8722	○	○*1	○
	大野中学校	白木原 3-11-1	1,410.8	0	2	470	581-0153	○	○*1	○
	大利中学校	上大利 1-6-1	1,427.7	0	2	475	596-2911	○	○*1	○
	大野城まどかぴあ	曙町 2-3-1	1,554.1	19	2	518	586-4000	○	○*1	○
すこやか交流プラザ	瓦田 4-2-1	795.6	9	1	265	501-2222	○	○*1	○	
南地区 コミュニティ センター	牛頸公民館	大字牛頸 1357-5	247.8	4	1	82	596-3513	○	○*1	○
	平野台公民館	平野台 1-20-7	198.1	4	1	66	596-3539	○	○*1	○*2
	月の浦公民館	月の浦 3-24-6	194.0	4	1	63	595-7147	○	○*1	○
	南ヶ丘1区公民館	南ヶ丘 2-19-1	211.1	3	1	70	596-3108	○	○*1	○
	南ヶ丘2区公民館	南ヶ丘 4-17-1	233.3	4	1	77	596-3501	○	○	○
	つつじヶ丘公民館	つつじヶ丘3-1-30	162.0	3	1	54	596-0027	○	○	○
	若草公民館	若草 2-6-23	255.8	3	1	85	596-0065	○	○*1	○
	いこいの里	大字牛頸 2472-62	159.9	5	1	53	596-3455	○	○	○
	南コミュニティセンター	南ヶ丘 5-9-1	1,361.5	7	2	453	596-0686	○	○*1	○
	大野南小学校	南ヶ丘 4-18-1	495.0	0	1	165	596-1223	○	○	○
	平野小学校	横峰 2-4-1	559.1	0	1	186	596-5711	○	○	○
月の浦小学校	月の浦 3-22-1	518.7	0	1	172	595-6776	○	○	○	
平野中学校	つつじヶ丘 4-1-1	1,410.0	0	2	470	596-6501	○	○	○	

(資料2)

関係機関の連絡先一覧

名 称	電話番号	住所
大野城市役所 危機管理課 消防・防災担当	580-1899	大野城市曙町 2-2-1
大野城市役所 危機管理課 危機管理担当	580-1966	
大野城市役所 すこやか長寿課 (地域包括支援センター)	501-2306	
大野城市役所 福祉サービス課 福祉政策担当 (民生委員・児童委員連合協議会事務局)	580-1851	
大野城市役所 福祉サービス課 障がい福祉担当	580-1852	
大野城市役所 こども家庭センター	580-1978	
大野城市役所 コミュニティ文化課 (国際交流協会事務局)	580-1812	
大野城市社会福祉協議会	572-7700	大野城市曙町 2-3-2
春日・大野城・那珂川消防署	584-1191	春日市春日 2-2-1
春日警察署	580-0110	春日市原町 3-1-21
大野交番		大野城市御笠川 2-12-2
白木原交番		大野城市白木原 2-4-22
南ヶ丘交番		大野城市南ヶ丘 4-1-20
春日原交番		春日市春日原南町 4-37-6
福岡県筑紫保健福祉環境事務所	513-5581	大野城市白木原 3-5-25
筑紫医師会	923-1331	太宰府市国分 3-13-1



大野城市災害時避難行動要支援者支援計画

平成22年 4月

平成23年11月（改訂）

平成27年 3月（改訂）

平成29年 4月（改訂）

令和 元年 8月（改訂）

令和 5年 2月（改訂）

令和 7年 2月（改訂）

問い合わせ先

大野城市 危機管理部 危機管理課 消防・防災担当

〒816-8510

大野城市曙町二丁目2番1号